

## 広島派遣研修で学んだこと

糸魚川東中学校 2年 野本 咲翔

今回の広島派遣で学んだことは原爆の恐ろしさです。いろいろなところに行ったり、いろいろな人の話をきいたりして、もう絶対に戦争を起こしてはいけないと思いました。また、糸魚川市内の中学2年生と一緒にいったことで仲間も増え、楽しく学習することもできました。

1日目に被爆者体験講話を聞いて、実際にどういうことが起きたのかをより詳しく知りました。講話してくださった多賀さんは戦後に生まれた方ですが、平和への願いを込めて広島で講話の活動をしているそうです。そこでは被害や被爆者の家族のことを知ることができました。また、この講話では今まで知らなかったことを知ることができ、その後の二日間の研修がとても分かりやすいものになりました。

2日目は平和記念式典に参加しました。そして被爆者の方々に黙とうを捧げました。その後、大和ミュージアムに行きました。大和ミュージアムでは大和のことについて学んだり、呉の歴史を学習したりしました。ここでは戦艦大和の技術にも驚きましたが、何より大和戦死者の名前が刻まれている碑を見て僕は心が痛くなりました。また、戦争にどんなものが使われたのかも知ることができました。2日目の最後はとうろう流しをしました。とうろうに願いを込めて多くの方々が参加していました。綺麗なとうろうの流れる様子を見ながら、それぞれの人の思いが叶って欲しいと思いました。

3日目は平和記念資料館を見学しました。ここには戦争で亡くなってしまった方の私物や苦しんでいる様子の写真が飾られていました。僕はそれを見て、また心が苦しくなりました。他にも原爆が落とされたときの写真も見てその凄まじさに驚きました。外国の方もたくさんいて、いろいろな人に戦争の恐ろしさが伝わってくれるといいなと思いました。そして最後に原爆ドームの見学に

---

行きました。写真で見たことはあったけど、実際に見るとより原爆の恐ろしさを実感しました。

この三日間で戦争の恐ろしさをたくさん学ぶことができました。そして今回の広島派遣で「戦争は絶対に起こしてはいけない。」ということを経験した人々に教えたいと感じました。また、これをきっかけにして自分自身でも戦争のこと、原爆のことを調べようと思いました。この研修は貴重な経験でした。糸魚川東中学校の全校生徒に伝えていきたいです。

---